

コミュニティスクールだより

学校運営協議会 下山小学校・中学校 合同号

11月21日（木）に学校運営協議会並びに地域学校保健委員会が下山小学校、下山中学校合同で開催されました。学校運営協議会の委員とともに今回は小・中の学校医、学校薬剤師、下山地区担当保健師の皆様にご参加いただき、下山地区の子どもたちの健康課題についてご意見を伺いました。

第1部

第1部では、体力テスト、食物アレルギー、定期健康診断、健康生活チェック週間についてそれぞれの担当教諭より子どもたちの現状と学校の取り組みなどについて報告がありました。

下山地域では、子どもたちの虫歯の多さや、ボールを投げる力が弱いこと、運動能力の個人差が大きいこと、就寝時間が遅いことによる睡眠不足などが課題としてあげられました。



校医・学校薬剤師・保健師の皆様のご意見

- ・睡眠も成長・発達に重要なので、改善できる方法を考えていきたい。
- ・肥満の改善は家庭での習慣が大きく関わっているので、生活指導をしていく必要がある。
- ・イヤホン・ヘッドホン難聴が問題になっている。気づかぬうちに難聴が進むので、子どもたちに強く指導してほしい。
- ・虫歯はかかると治らない疾患。予防のためには、こまめにブラッシングをすることや、だらだら食べをしないなど、基本的な歯科指導をしていく。
- ・痛み止めを飲みすぎて頭痛が起きやすくなることもあるので、薬の使い方にも注意が必要。
- ・健康指導や薬の教育など一緒に子どもたちの教育、健康に携わっていきたい。
- ・下山は、コミュニティ協議会や民生委員に力があり、地域の課題を感じ取っている活動が多い。

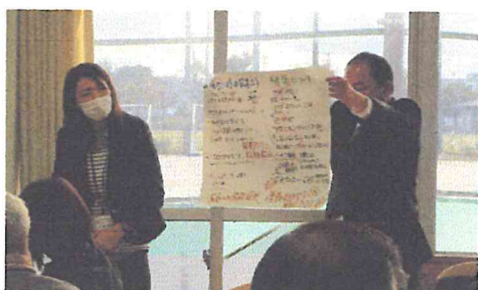
第2部

第2部は9グループに分かれ、子どもたちの健康に関する課題や、解決の方法について話し合いました。



グループによる発表 3つのグループが意見を発表しました。

- ・コロナ禍で運動機会が減少したことや、筋力の低下などで姿勢の悪い子が多い。家庭へ情報提供、啓発をしていく。ネガティブな情報だけではなく、「こうするといい」という情報も発信していく。
- ・中学3年生の虫歯の割合が高い。(治療済みも含む) 虫歯はどんどん蓄積されていくので、小さいころから家庭、学校で気を付ける。
- ・睡眠時間が大切な理由を子どもの発達段階に合わせて伝えていく。例えば、高学年は、外部講師などからより専門的な話をしてもらおう機会を作る。



その他のグループの意見

授業を工夫、学校体制で単元づくり

睡眠不足が体に悪いことを美容や成長に関連付けて伝える

けがの予防のため中学校では部活動前のウォーミングアップを確実にする。
小学校では登下校の指導を続けていく

就寝、メディアの使用について
半数以上の家庭では保護者がよく管理している。家庭との連携が大切。

家族で生活リズムを見直す

一週間の生活を見直して計画をしていく力を育てる